

議会だより



定例会・請願・陳情	ページ 2・3
一般質問(まちづくり・観光・教育を質す)	5～9
モニターアンケートにお答えします	12・13
新しい町づくりへ 私の提案	15

牟礼小学校ダンス練習風景
関連記事16p



電気・ガス等の物価高騰に生活支援

住民税非課税世帯に1世帯当たり、3万円を支給。
 低所得子育て世帯に児童1人当たり、5万円を支給。
 町民1人当たり、応援商品券5000円を支給。



▲さみずっ子保育園バス

飯綱町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 — 可決

町内保育園送迎バス
 すべてに置き去り防止
 安全装置を設置予定

条例改正 主なもの

6月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を行い、6月1日から16日までの16日間の日程で開催された。提出された議案は、専決処分の承認が3件、条例が5件、補正予算が1件の計9件。
 9件すべて原案通り可決・承認した。
 陳情2件。1件は全会一致で採択、1件は賛否同数となり、議長裁決により採択とした。



▲さみずっ子保育園バス



▲南部保育園バス



▲りんごっ子保育園バス

今春開始の新型コロナウイルス感染症防止のワクチン接種に間に合わせるための補正予算。
 既定予算に2824万円を追加して、総額82億5825万円とするもの。
 歳入は全額国庫支出金。

令和5年度一般会計補正予算(第1号) 専決処分の承認 — 承認

補正予算

牟礼西児童クラブの廃止に伴い、条例の該当部分を削除するもの。

飯綱町立放課後児童健全育成施設条例の一部を改正する条例 — 可決



▲りんごっ子保育園バス

物価高騰に対する生活支援

令和5年度一般会計補正予算(第2号) — 可決

既定予算に6398万円を追加して、総額83億2223万円とするもの。

主な歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫支出金) 8248万円

教育費 △3527万円

B&G財団からの補助金不採択により三水B&G海洋センターの改修を延期。

主な歳出

住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業(1世帯当たり3万円) 2700万円

低所得子育て世帯生活支援特別給付金(児童1人につき5万円) 550万円

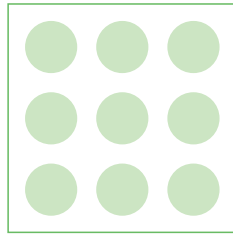
商工振興対策事業(応援商品券 町民1人当たり5000円) 5226万円

点字ブロックの種類



誘導ブロック

視覚障害者がブロックの突起を足裏あるいは、白杖で確認しながら突起の方向に進むことができるよう、安全に歩行できるように設置。



警告ブロック

階段前、横断歩道前、交差する分岐点、案内板の前、障害物の前、駅のホームの端など注意すべき位置に設置。

飯綱町内は、視覚障害者を持った人が歩く際に大切な点字ブロックが少ない。必要な場所に増やすことを求めている。
常任委員会での意見
点字ブロックの誤認事故の起きない場所においては、道路改修に合わせて積極的に取り組むべき。

陳情

飯綱町の点字ブロックの増加についての陳情
—採択—

陳情者

消費税廃止長野連絡会

宮沢 栄一

消費税インボイス制度実施は、当面延期するよう政府に意見書を提出することを求めている。

消費税インボイス制度（適格請求書方式）の実施延期を求める意見書提出についての陳情—採択—

反対討論

樋口 功

インボイス制度は、5年前の軽減税率導入時にセットで決定された。国はこれまで全国で説明会などを開催し、今後も経過措置により着実な導入を目指している。これらを無視した独自展開の陳情は認められない。

青山 弘

免税業者が課税業者になったとしても経過措置や制度の改正等で意見書の内容より負担は軽くなる。免税業者のままでも課税業者に消費税分全額値引きは求められない。実態とは異なる意見書に賛成できない。

可否同数のため議長裁決により採択とした。



免税事業者のみさまへ

令和5年10月1日から

インボイス制度が始まります！

現在免税事業者の方も、ご自身の事業実態に合わせて、インボイス発行事業者の登録を受けるかをご検討ください

～ A社さんのケース～

ぬいぐるみ製造業 (免税事業者) A社さん、インボイス制度のこと様知っていますか？ お料りに関係がある会社いさんです。

インボイス制度でひびく・・・

他の製造業 (課税事業者) B社

インボイス制度（適格請求書等保存方式）とは・・・

- 買手は、仕入精算控除の実用のために、原則として売手から交付を受けたインボイス（適格請求書）を保存する必要があります
- 売手は、インボイスを交付するためには、事前にインボイス発行事業者（適格請求書発行者）の登録を受ける必要があり、登録を受けると、課税事業者として消費税の申告が必要となります

売手 (免税事業者) → 買手 (課税事業者)



総務産業・福祉文教合同常任委員会(6月16日)

町内果樹園 凍霜害
今年の被災状況は

視察報告

農作物被害額(令和5年6月9日現在)

県内(40市町村)	23億3285万2千円		
飯網町	7362万2千円(りんご・なし・おうとう等)		
りんご	約6600万円	1割減	被害面積 28.2ha
なし	約500万円	6割減	
さくらんぼ	約300万円	4割減	

4月9日・10日・13日・18日・25日の断続的な低温により、県内40市町村で凍霜被害が発生した。議会では、JAながの田中営農技術員の案内で町内のりんご・なし・さくらんぼ、それぞれの果樹園において、被害発生状況を視察した。技術員によると、霜の通り道となったりりんご園では全体的に結実が悪く、収穫量も減少。「まる特」の商品で供給を補うなどの対策も必要との話があった。

視察・賛否



3年枝の結実が悪いりんご園

今後について
農業農村支援センターに窓口を設置し、生産者団体とも連携して被災農家に対し技術面、経営面の相談にきめ細かく対応している。議会としても実態把握が進む中で、被災した農家に対して必要な支援策を町に要望していく。

令和5年度 6月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	三ツ井忠義	中井寿一	小林文廣	瀧野良枝	青山弘	中島和子	樋口功	風間行男	目須田修	石川信雄	清水満	大川憲明	伊藤まゆみ	原田幸長	渡邊千賀雄(議長)
令和4年度飯網町一般会計補正予算(第12号)の専決処分の承認について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
令和4年度飯網町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
令和5年度飯網町一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯網町若者住宅管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯網町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯網町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯網町立放課後児童健全育成施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯網町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯網町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯網町の点字ブロックの増加についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「消費税インボイス制度(適格請求書方式)」の実施延期を求める意見書提出についての陳情	採択	○	●	●	●	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●
「消費税インボイス制度(適格請求書方式)」の実施延期を求める意見書案	可決	○	●	●	●	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●

一般質問 まちづくり・観光・教育を質す

いしかわ のぶ お
石川 信雄 6ページ

- 1 ウェルビーイングなまちづくりを
- 2 飯綱町DX(デジタルトランスフォーメーション)の具現化を

なか い ひさかず
中井 寿一 8ページ

教育の改革は

なかじま かず こ
中島 和子 7ページ

- 1 これからの地域活性化と発展は
- 2 観光資源の活用と関係人口の増加を

いとう
伊藤 まゆみ 9ページ

子ども達の健やかな成長への支援の拡充を

一般質問



- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



初めての議会傍聴でしたが、大変興味深く聴かせていただきました。「最近は何問内容が成熟してきている」という町長のお言葉通り、聴きごたえのある質問と答弁だったという印象です。

具体的な議題「ウェルビーイング」については、勉強になったり考えさせられたりしました。保健福祉にとどまらず、心身・社会的に満たされた幸福な状態を表す言葉だということ、町民全体の幸福度という数値化の難しいものを行政としてどう捉えるかが特に興味深いところでした。何をもちって町民の幸福とするかという質問の

傍聴席



仲俣 茜さん
(西黒川)

充実した時間でした

答弁の中で、「ウェル」とは日常生活での「ここがもつところだったらしいのに」が総合的に解消された状態であると考えるというお話があり、一町民として心に残りました。

質問と答弁の全体を通して、教育や地方創生に及ぶ町の取り組みや外部からの評価、他の町の取り組み事例などが多く用いられた説得力を感じました。機会があればまた傍聴させていただきます。

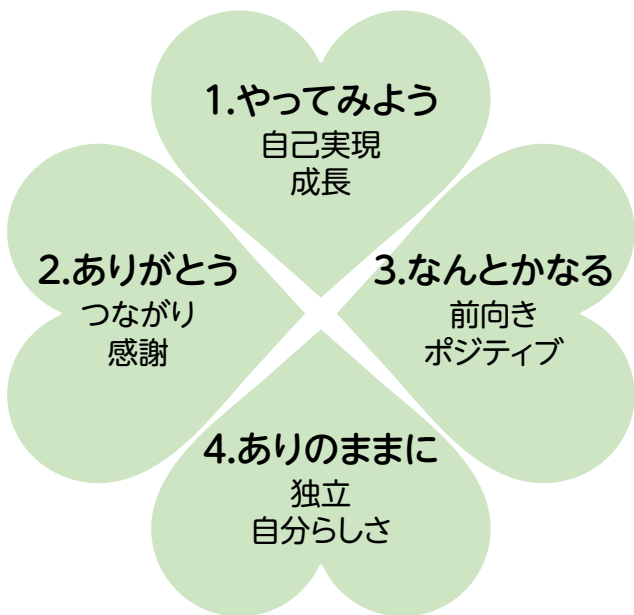




石川 信雄議員

ウェルビーイングなまちづくりを

町長 取り組んでいかなければならない



ウェルビーイングとは

政策にウェルビーイングなまちづくりを

ウェルビーイングとは
(精神的、肉体的、社会的に満たされた状態のこと)
石川 町長が思う町民の幸福とは。

町長 All is well。いろんな意味で幸せという意味だが、幸福の向上に行政としてどんな政策をし、どういう対応をしていけばいいのか、それを導くということに繋がっていくんだらうなというふうに思っている。

一般質問

石川 総合計画でも日本一女性が住みたくなる町へを政策目標として掲げてきた飯綱町だが、そのような観点からも目標値達成されたのか。

町長 諸々の子育ての事業の展開、女性の活躍の場、または就労の場の確保、公的な委員会等々への女性の登用、この辺については、そういう社会には僅かずつでもなってきたというのではなにかと感じる。

石川 人付き合いでのコミユニティというものに対しての町長の考えは。

町長 維持のために、時間を作ってみるチャンスをお皆さんに申し上げるみたいな、そのような工夫をして進めていくべきだと思っている。

石川 しあわせ未来会議をしては。

町長 どんな町をみんなが望んでいるのか、どんな知る機会を作っていくということは大賛成。

石川 OECDが「2030年に向けた学習枠組み」を示し、教育制度改革を加盟国に求めたが、対応は。

教育長 新学習指導要領の中核は、主体的で対話的、深い学びの実現に向けた授業改善を目指している。また、学習評価においては、学習したことに意味や価値を実感できる評価をすること。学習の過程や成果を評価することなどが求められている。町としては、次世代を担う子供たちが社会的文化的多様性を認め合いながら、分断ではなく、協働を短期的な利益ではなく、持続可能な社会を目指す人



▲デジタル端末

飯綱町DX(デジタルトランスフォーメーション)の具現化について

石川 飯綱町DXのそれぞれの進捗状況は。
企画課長 地域課題の解決として、ICTを活用したシステムを導入する予定としていて、公共施設の予約システム、スマートグラスを活用した買い物支援、鳥獣害対策などで、地域で抱えていた様々な問題や課題を解決することで、住民の皆様の生活満足度の向上に繋げていきたいというふうに考えている。

間育成、そういう教育に取り組んでいきたい。

集落組織健全化をどう図るか

町長 組織が活動してこそ存在価値がある



中島 和子議員

区・組の再編は

中島 地域の現状と今後は、**町長** 役員のなり手や、地域活動の参加者がいなくなるなど、地域で非常にいろいろな問題が出てきている。牟礼地区においても区が機能しなくなってくれば、もう1回、大きな集団に区編成する時代になって来たと考える。ただ、2つを一緒にするのはなく、それぞれ存在する機能を持つ形をとりたい。牟礼地区を6、7ぐらいの大きな単位とし、連携できるところは1つの大きな集合体としたいが、行政が進めるというより代表者会議等で段階を踏みながら検討していく。

中島 再編について、これまでの協議の経過は。

町長 平成28年の代表者会議で大きなブロックにしたかどうかとの説明をした。区・組長さんからはその必要性はないという意見で話は収まった。後に、集落活性化へ集落創生事業を創設した。

新たな集落創生事業を

中島 実施地区からは集落を超えた事業が効果的ではとの考え方がある。集落の連携が期待できるが。

町長 多世代交流や他地域との交流など、発展的な事業は望むところ。財源としては、ふるさと納税を地域



▶年々増える集落創生事業参加者
(普光寺西部、楽々委員会)

の活性化に使用させていただくことは最高の使い道だと思う。

中島 住民生活の拠点である集落組織の健全化をどう図るか。

町長 その組織が活動してこそ存在価値がある。集落支援員など助言者の配置をして維持を図る。集落の創生は難しいが、田舎だからできる素晴らしい事業である。

観光資源の活用を

中島 霊仙寺湖畔において、国内初の「ワールドカップノルディックウォーキングハーフマラソン大会」が9月に開催予定。国内外から参加者が見込まれる。町のPRを。

産業観光課長 町を知っていただく大きなチャンス。課で検討して町を宣伝していく。関係人口の創出も期待できる。

中島 りんごの町を印象づけるみつどんグッズ（日本手ぬぐい）を参加賞とし、また、大会を盛り上げるイベントアーチを町の備品とすることは。



▶整備されたコースで気持ちよくウォーキングを楽しむ人々

町長 アーチ等を含めどんな費用が掛かるか、大きな大会になるので町としても実行委員の中にどう関わっていくか今後検討し、気持ちよく誠意をもって迎える計画をする。

中島 ウォーキングを楽しむ観光客も増えている。町の観光資源の今後の活用は。

町長 健康増進も含め、町の観光資源を活かすスポーツとして考えていく。



中井 寿一議員

教育改革は 法律の範囲内で

教育長

一般質問

教育の自由化は

中井 「教育の自由化」は、昭和時代から答申に謳われている。これには学校以外の教育機関による教育も視野に入っている。これについてどう考えるか。

教育長 教育委員会は、公立の学校における学びの自由を保証するものであって、それ以外について関知しない。

教育の多様性は

中井 教育の多様性とは、個の重視から来ている。個の重視には、教師の時間が必要だが、効率を優先してきた学校教育には無理があるのではないか。

教育長 学校には、多くの先生がおり、友達や地域住民もいるので、問題無いと考える。

私立中学への助成金は

中井 県は、私立の中学校にも助成金を出している。県は、教育の自由化を後押しし、学校選択の自由を垣



▲義務教育の無償化は、公立学校のみである。図中の数字は、小学校への国(左)や県(右)からの一人当たりの助成金の額(万円)を表す(概算)。教育の自由化が必要とされるも教育機関によって家庭の経済的負担は大きく異なる。

**信州型フリースクール
認証制度は**
中井 フリースクールに対する助成金が、憲法89条に



▲高校生に出ている通学定期の補助が、小中校生にも出ること。

根を設けないように努力している。町として県の動きに呼応してできることはないか。
教育長 高校生に出している通学定期の補助を、小中校生にも出す。

より規制されていることについて、県は何らかの認証制度により回避しようとしている。県はフリースクールへの助成に前向きであるが、町として県の動きに呼応してできることはないか。
教育長 これまでも、授業で使う分には、公共施設を無料で貸し出したり、不用品を無償譲渡しているし、土地建物の相談にもなっている。しかしながら、フリースクールはあくまでも教育委員会の管轄外なのでこれ以上の協力はできない。

町内のフリースクールは

中井 町内には2つものフリースクールがあるが、町として、教育産業の育成や移住促進に活用するつもりはあるか。

町長 特に考えていない。

給食費無償の実施を

町長 予算編成時に検討したい



伊藤 まゆみ議員

子どもの抑うつへの 対応は

伊藤 子どもの抑うつ傾向が、コロナ流行初期から改善せず高止まりしていると、国立成育医療研究センターの調査で分かった。町の状況把握は。

教育長 数として把握していない。臨時休業明けには、休みや登校しぶりはあった。**伊藤** 子どもの抑うつ傾向について、保護者への周知は。

教育長 特別行っていない。

伊藤 専門家は「周囲の大人は、子どもの体調や性格の変化を見逃さないでほしい」と訴えている。保護者へも知らせるべきだ。

教育長 学校へ行けない時があるなど問題のある子へは対応している。大事なことなので、周知したい。**伊藤** 統廃合で小学校の無くなった

地域の方々には日々子どもの声が聞こえなくなったことに淋しさを覚えている。これまででも子育てに係わってきた地域の方々にも周知しては。**教育長** 牟礼小では、午後地域ボランティアの協力を得て、学校で遊びを通した学びを念頭に過ごしている。多くの目で係わってほしい。

給食費無償 の実施を

伊藤 岸田首相が鳴り物入りで発表した「異次元の少子化対策」は期待に反したもので、給食費の無償は「課題の整理」に留まっている。県は、予算の試算を始めたとのことだが、日本共産党の議員の質問に、「それぞれの自治体で対応してほしい」との立場だ。

信濃町では、この4月から第2子以降の子の給食費を半額補助している。設置者としての考えは。**町長** 考え方に異論はないが、国がしっかり面倒を見るべきだ。

年4200〜300万円かかり、安い金額ではない。予算編成時に、無償とすることに必要性があるか、どのようにやるかなど検討したい。



▲食材の地産地消(有機野菜)の拡大を

使用する野菜をできるだけ有機にしたい。

伊藤 有機野菜は材料費が高くなるが。

町長 有機栽培は収量が落ちるので高く買うなど農家支援が必要になる。給食費は上げないようにしたい。

伊藤 生産者の顔が見える食育が大事だが、取組は。

教育長 コロナ禍で中止していたが、正常に戻ったら生産者や調理員との交流を始めたい。

一般質問



▲心身共に健やかな日々を連携で

議員定数・報酬等調査研究 特別委員会

6月定例議会中に第1回特別委員会を行い、会議の運営方法・今後の日程・進め方について検討しました。7月5日、第2回目を行い、議員定数・報酬についての現状分析を行いました。令和6年10月を目安に議員定数・報酬のあり方について、議員の基本方針を町へ提出する予定です。町民の皆様へアンケート調査を行い、参考資料とさせていただきます。

～アンケートへのご協力をお願いします～ (①または②のいずれかをお願いします)

①アンケート用紙を封筒の形にして、切手を貼らずにポストへご投函ください。



②アンケート用紙に記載のQRコードを読み取り、Googleフォームにてご回答ください。



【飯網町議会の定数・報酬に関する状況】

合併後の町議会議員選挙

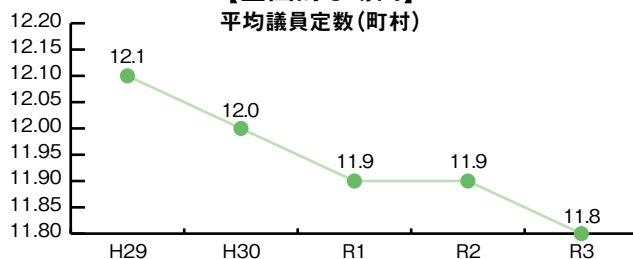
回	定数	立候補者数
第1回(H17)	18名	22名
第2回(H21)	15名(削減)	16名
第3回(H25)	15名	17名
第4回(H29)	15名	16名
第5回(R3)	15名	15名(無投票)

議員報酬の推移

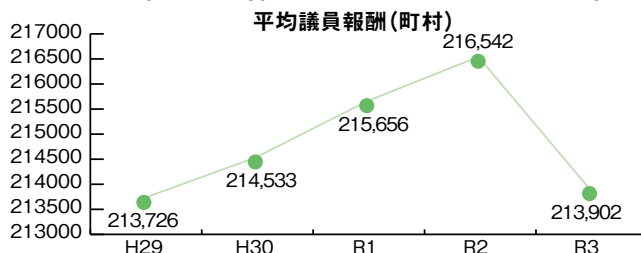
期間	議長	副議長	委員長	議員
H17.10.1～ H17.11.30	269,000	184,000	174,000	160,000
H17.12.1～ H21.10.29 (特例条例で減額)	247,500	173,000	163,600	152,000
H21.10.30～ H29.10.29	269,000	184,000	174,000	160,000
H29.10.30～ 現在	269,000	196,000	183,000	174,000

【全国的な動向】

平均議員定数(町村)



平均議員報酬(町村)



特別委員会

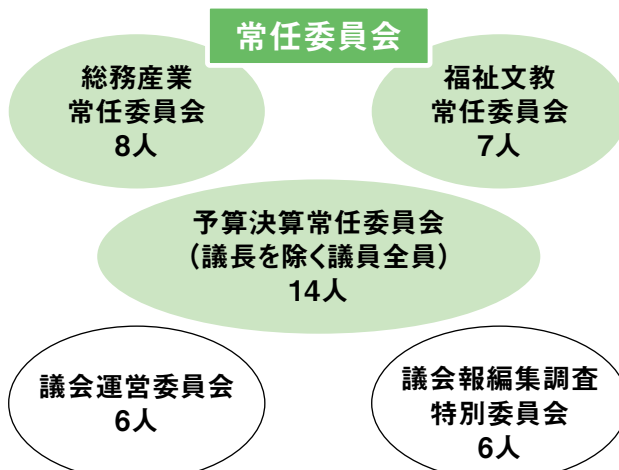
《主な年間スケジュール》

- ◇予算・政策要望書を町長に提出
- ◇町民講座を町と共に開催
- ◇長野建設事務所への要望書提出
- ◇政策サポーター会議の開催
- ◇常任委員会視察

※活動日数(報酬算定基礎となる議会活動日のみ)

	定例会・ 臨時会	全員 協議会	合計日数
R1	76	14	90
R2	79	16	95
R3	85	16	101
R4	82	16	98
平均	80.5	15.5	96.0

《委員会の状況》



381-8790

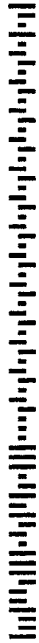
飯綱町大字牟礼二七九五番地一

飯綱町役場 議会事務局 行

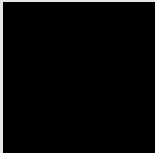


差出有効期間
2023年9月
30日まで

議会アンケート



折り線



ご面倒ですが、太枠で切り取り、のり付けし、封筒の形にして切手を貼らずにポストへ投函ください。

6 2 1 0

議会に対する町民アンケート (8月31日(木)までに投函してください)

このアンケートは、町民の皆さんの議会に対する意識等を把握し、今後の議会活動に役立てるために行うものです。ご回答へのご協力をお願いいたします。

※以下、あてはまる項目に☑をお願いします。

(1) 議会に町民の声が反映されていると思いますか?	(4) 議会や議員に何を期待しますか? (複数回答可)
<input type="checkbox"/> 反映されている <input type="checkbox"/> ある程度反映されている <input type="checkbox"/> あまり反映されていない <input type="checkbox"/> 反映されていない <input type="checkbox"/> わからない	<input type="checkbox"/> 町民の声を町政に反映する <input type="checkbox"/> 議員の資質向上 <input type="checkbox"/> 町政運営のチェック機能の強化 <input type="checkbox"/> 定期的な活動報告会 <input type="checkbox"/> 町民生活で困っていることの相談相手 <input type="checkbox"/> 町政運営の提言活動の強化 <input type="checkbox"/> 町と県、国のパイプ役となる
(2) 町民に開かれた議会であると思いますか?	(5) 月額17万4000円の議員報酬をどのように考えますか?
<input type="checkbox"/> 開かれている <input type="checkbox"/> ある程度開かれている <input type="checkbox"/> あまり開かれていない <input type="checkbox"/> 開かれていない <input type="checkbox"/> わからない	<input type="checkbox"/> 増やすべき <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減らすべき <input type="checkbox"/> わからない
(3) 住民に開かれた議会とするために何が必要だと思いますか? (複数回答可)	(6) 15人の議員定数をどのように考えますか?
<input type="checkbox"/> 町民と議会の意見交換会を行う <input type="checkbox"/> 議会報告会を各地域で行う <input type="checkbox"/> 議会だよりの内容充実 <input type="checkbox"/> 傍聴しやすい議会の開催 <input type="checkbox"/> 議会ホームページの充実	<input type="checkbox"/> 減らすべき <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 増やすべき <input type="checkbox"/> わからない
~~~議会に関するご意見をお聞かせください~~~	

ご協力ありがとうございました。アンケート結果については、議会報等で公開する予定です。  
 なお、結果は統計的に処理し、個人を特定できるデータの公開は行いません。



記入者 _____ 歳代 _____ 男性 ・ 女性 (○印を)

# モニターアンケートにお答えします

## 議会だより第70号(3月定例会)

Q

・モニターを受けてから1年近くになりますが、ちょっと疑問に感じることも、身近から聞かえてくれることがちょっと気になりますので…モニターの意見の検討はどうなっているの？

A

・皆さんからお寄せいただいたモニターアンケート結果は、町の課長以上は回覧で閲覧していただいています。また、議員個々の判断に寄りますが、皆さんからの要望を一般質問の案件として取り上げることもあります。

Q

・自分の住んでいる町のことで、誰かがやってくれると無関心で不満を言いがちですが、町の運営に皆が参加しなければと思います。

A

・自助、共助、公助とよく言われますが、町の総合計画でも共助を謳っております。要望等がありましたら、どんな案件でもおつなぎください。課題解決になるように議会としても共助してまいりたいと存じます。

Q

・モニターアンケートを読むとなかなか辛口で。口で言うことは簡単ですが、その口で言うことに責任が伴う立場にある議員の皆さん、「真の熱意がないとなかなか議員になろう」とは思えないですね。また、「議員定数・報酬等調査研究特別委員会」の発足、その後楽しみにしています。チーム議会、応援しています。

A

・ありがとうございます。なり手不足の問題も議会では重要視しています。「議員定数・報酬等調査研究特別委員会」の結果がどのようなものになるかは先の話ではありますが、議会構成も各世代が反映された多様化したものになるよう考えていきたいと思えます。

Q

・新聞の記事で恐縮ですが、佐久穂町議会は、議会の活動を知ってもらい、町民の意見を聞く場として議会報告会を開いた。昨年、今年と2回目。我が町の議会傍聴者も多くはないようであり、議会、議員の周知として「議会だより」もありますが…議会報告会なるものも1つの妙案かも。

A

・議会報告会は、全町ではありませんが、一部の地区では区の総会に時間を頂戴し実施しています。関連することではありますが、今年度、「議員定数・報酬等調査研究特別委員会」で、住民懇談会を町内各所で開催することを予定しています。ご都合がつかましたら、是非、ご参加ください。



# あの時の あの質問 どうなった??

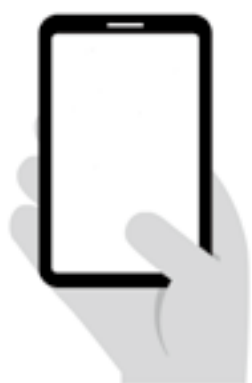
～定例会一般質問答弁の進捗状況から～

【令和4年12月】

**Q** 移住希望者へ無料職業紹介を。

**A** 長野市に近く自然が豊かで家族層に優しいことをサイトで発信し、町内の受入協力事業者をサイトにアップしていく。

**対応** 町の移住定住支援サイトに移住者インタビューを増やし、無料職業紹介をアップした。



【令和4年9月】

**Q** 住宅リフォーム支援補助金申請方法の改善を。

**A** 公平性を担保し、申請窓口が混乱しない方式を研究する。

**対応** 電子申請を併用する。応募が予算を超えた場合は、抽選とする。

【令和4年12月】

**Q** 布団、ブルーシートの回収方法を見直せないか。

**A** 布団は、可燃ごみ袋に入る大きさなら可能である。ブルーシートも現在の焼却炉では問題がない。関係者と協議のうえ、見直しをする。

**対応** 見直しし、分別ガイドブックを改定し該当箇所を配布した。



あの質問どうなった

# 新しい町づくりへ 私の提案

第31回

## 私が思う 飯綱町の魅力



原田 佑香さん  
(平出)

飯綱町に越してきて2年めに入りました。自然の豊かさや美しさを感じられ、充実した毎日を過ごしています。

飯綱町には、魅力的な物がたくさんあります。例えば古民家や廃校となった小学校をリニューアルしたカフェ、飯綱町の花や味覚が楽しめる「いいづなまち花めぐり」などがあります。そういったものを、より多くの方に知ってもらえるようSNS発信を行っています。と良いのではないかと思います。また、自然を活かした大型アスレチックやペットや子どもを連れて遊べる施設を作ることで色んな世代から愛される町を作っていけると思います。

飯綱町の魅力がたくさんの方に伝えることを願っています。

## 不便さを 少しでも解消へ



匿名希望さん  
(福井団地)

飯綱町は北国街道のバイパスができ、飛躍的に長野市のベッドタウン化が進んできたかと思いますが、高齢化が進んでいるのが現状です。その要因としては少子化が進んでいること以外に山間部の不便さが大きな要因となっており、人口増にブレーキをかけているのではと思っています。私が飯綱町に居住することを決めた理由は、勤め先がある長野市に近く、魅力的な自然が多く残されている点で、子供達が育っていく上でも最適な場所であると思ったからです。実際に生活をして今までは特に不満はなかったのですが、高齢になりつつある中で交通手段として欠かれない車の運転ができなくなる(免許返納で運転しないことも含む)ことに対して不便さを感じて来る事を推測しています。その不便さを少しでも解消させる事ができれば、今後に期待したい移住者増にも繋がるのではと思っています。ただ最終的には人間関係になると思いますが、その為には地域住人同士の絆作りが大切で、それがしがらみになり生活がしづらくならないような仕組み作りをしていくことも重要な課題と思っています。

## もっと大好き 飯綱町



森山 昭二さん  
(北川)

牟礼村時代から地区の皆様は、お世話になり楽しく暮らさせていたいただいています。私自身も高齢者の域に入り、日々の農作業も身体にきつい事があります。次のような制度が有ると便利だと思います。

◎JAと共同で農機具の安価な貸出

(高所作業車・チップパー・のり面草刈り機モーター等)

その他、生活している中で

◎直売所にコンビニを誘致する。

集客の向上と地域での買物の利便性向上をはかる。

◎文化財への支援

飯綱町には、有形・無形の文化財が数多く有ります。町の宝を発掘し、後世につないでいくために支援(資金)を受けやすくする。

義母と一緒に暮らしていましたが、介護制度も充実しており、町外の人からうらやましがられました。もっともっと素晴らしい町になればと思います。

2023年度 飯綱町民講座のご案内

「今、この国で起きていること、いま地域住民がすべきこと」

入場無料

講師  
青木 理

ジャーナリスト  
ノンフィクション作家



対談者  
畑谷 史代

作家  
信濃毎日新聞社論説委員



日時 2023年 8月5日 (土)  
開場 13:30 開演 14:00  
場所 飯綱町民会館ホール

■共催 飯綱町 飯綱町議会  
■問い合わせ 飯綱町企画課 TEL 026-253-2512  
飯綱町議会 TEL 026-253-4761

71号表紙説明

プロのダンサーの指導のお陰だけではありません。休み時間も、家でも練習したから綺麗にできたのです。講師の言葉が今も心に残ります。「失敗を恐れない。失敗は成功へのワンステップ」。



子どもたちに語りかける講師

議会だよりモニター

生の声 32

住み良い町 飯綱



岩井 美智子さん (牟礼)

昨年からは飯綱町に足を運ぶようになり、飯綱町で出会う方の人柄や景色が好きになりました。思い描いていた自然豊かで静かな暮らしが送られており、とても住みやす

い町だと感じています。近年温暖化が進む中、夏も比較的過ごしやすい気候で、夏には桃、秋にはりんごといった様々な美味しいフルーツが穫れ、冬にはウインタースポーツが楽しめる、そんな飯綱町をとても気に入っています。今後、大好きなこの町を家族や友人にも知ってもらいたい、たくさんの方が遊びに来たい!と思える町になると嬉しいです。



9月定例会予定

9月1日～22日 (22日間)  
一般質問  
9月6日 (水)・9月7日 (木)  
常任委員会  
9月8日 (金)・9月11日 (月)

編集後記

「何のために行うのか?」経済学者のピーター・ドラッカーの問いかけです。ダンスの練習で子供達にかけたとき、講師が問いかけました。「何のためにダンスをするの? 見に来てくれる人達を泣くほど感動させたいんじゃないの?」。講師も私も涙しました。(寿)

編集委員

渡邊 千賀雄  
石川 信雄  
中井 寿一  
小林 文廣  
瀧野 良枝  
青山 弘  
中島 和子  
発行 委員 渡邊 千賀雄  
副委員 石川 信雄  
委員 中井 寿一  
委員 小林 文廣  
委員 瀧野 良枝  
委員 青山 弘  
委員 中島 和子